

<研修主題> **互いに学び合う子どもたちの育成**  
～ **学び合う楽しさをめざした授業づくり** ～

**学び合う楽しさを味わう子どもたち**

- ・ 友だちの考えをしっかりと受けとめられる子どもたち
- ・ 自分の考えが出せる子どもたち
- ・ 自分の成長だけでなく、学級の成長を意識できる子どもたち
- ・ 授業を自分たちで創造しようとする子どもたち

各学年のめざす具体的な児童像（別紙）

ひまわり

- 1年
- 2年
- 3年
- 4年
- 5年
- 6年

**学級づくり**

- （聴き合える学級・学級の質を高める）
- ・ 学級の雰囲気づくり（ものが言える空気、どの子も認められる存在であり、どの発言も受けとめられる学級）
  - ・ 聴く・話す・書く・考えるなどの基礎的な力の向上
  - ・ 日々の授業を進めていく上での学習規律

**教師力（教師の授業組織力・教材研究力）の向上**

- ・ 深い教材研究（子どもにとって学びがいのある教材に）
- ・ 課題の設定（子どもにとって学びがいのある）
- ・ 授業を活性化させるための学習形態のあり方（ペア・グループ・一斉）
- ・ 教師の出場（発問・資料提示・もどす・つなぐなど）
- ・ 授業の中での柔軟な対応力（教師の話し方、表情なども含む）
- ・ 児童理解
- ・ 教師集団での共通理解
- ・ 子どもたちと共に学ぶ教師の姿勢

**「学び合う」とは**

課題に対して、子どもたち一人ひとりが自分の考えを出す。お互いに友だちの考えを自分の考えや他の子の考えと比べたり、内容を考えたりしながら聴く。そして、自分の考えを広げたり、深めたり、新たな発見をしたりする。そしてさらに自分の考えを発言する。

このように、発言をつなげていくことで、自分の考えを深めたり、広げたりしていくことができる。そのような中で「できた」「わかった」という楽しさや喜びを得ることができ、主体的に学ぶ力をつけていくと考える。また次への学習意欲をもつことができる。そのような子どもたちの姿が「学び合う」と考える。